



座光寺風景

水辺の広場

7月15日(日)阿島橋の下、「水辺の広場で遊ぼう!!」が開催されました。総勢150名(子ども70名、大人42名、その他スタッフ)全員で、まずゴミ拾いをしてから、水生生物の学習会を行いました。つかみ取りしたマスの塩焼き、カレーや流しそうめんも用意されていて、賑やかな声が響きわたる1日でした。

イベントでつながる

飯田OIDE長姫高校 和田 あさひ

私達飯田OIDE長姫高校の座光寺地区を担当し活動しているグループでは今回「水辺の広場で遊ぼう」に参加させていただきました。このイベントではカレー作りの手伝いや魚のつかみ取り、流しそうめんの準備をしました。

カレー作りでは地域の主婦の方々と楽しく話しながら沢山のカレーを作り、魚のつかみ取りでは自分で魚をさばき炭で焼くといった滅多にできない体験ができました。小さい子達が「キヤーキヤー」と叫びながら頑張って魚をさばく姿がとてもほほ笑ましく思いました。

カレーと川魚を食べた後はリニアについてのアンケート調査をさせて頂きました。地域の人と話していくうちに、座光寺の今後について考えていることが一人一人違うことが分かりました。この調査を元に私達なりに何か提案できたら良いなと思いました。

その後は、流しそうめんを流しました。流す立場は初めてだったのでタイミングがつかめなかったり量が分からなかったりしま

したが、小さい子達が楽しく沢山食べてくれたので良かったです。

最後は満腹になったので皆で川に入りました。川で遊んでいるとすぐ小さい子達と仲良しになりました。ハイタッチしたり流してあげたり助けたりと、沢山触れ合うことができて楽しかったです。

今回イベントに参加したことで地域の人達と親しくなれた気がしました。こういったイベントが沢山あると良いです。



参加した高校生のみなさん

平成30年度 市政懇談会

平成三十年七月三日(水)午後七時から座光寺公民館で市政懇談会が開かれました。

参加者は約百四十名で「座光寺の歌」を全員で歌い、開会しました。

最初に牧野市長から市政経営の方向について説明があり、続いて座光寺地域自治会から「田舎へ還ろう戦略」への取り組みから二つの事例発表がありました。

まず座光寺の食材を使った名物料理作りに取り組み「座・女子力」は、座光寺まんじゅうを使った天ぷらまんじゅうを参加者全員に振る舞い、会の取り組みをアピールしました。(※「座・女子力」は公民館女性委員会を中心に三年前に発足) 代表の原田薫さんは「自分たちが出来る事を一つ一つ積み重ね、女性の力で地域を明るく元気にしたい。」と意気込みを伝えました。

次に水辺の広場委員会と公民館育成部などが連携して、毎年開催しているイベント「水辺の広場で遊ぼう!!」の映像を上映した後、二人の小学生から参加しての感想の発表がありました。

座光寺小四年 塚平陽介君
「魚を捕って食べたこと」
僕が夏にうれしかったことは、

水辺の広場という公民館のイベントに参加できたことです。その中でも一番うれしかったことは、魚を食べられたことです。

僕は魚が嫌いで食べられませんが、でも魚のつかみ取りは初めてなので、大きい魚を捕りたいなと思っていました。そしてつかみ取りで大きな魚を捕れました。「やった」と思いました。でも自分で捕った魚を自分で食べると聞いて、「えーいやだな」と思いました。

焼いている時も、「いやだな、食べたくないな」と思いました。僕のが焼けたので食べてみました。「やった食べられた。でもおいしくないな。」と思いました。僕はおいしくなかったので一口しか食べられませんでした。他の人はバクバク食べていたので、いいなと思いました。塩の味もしていたので、もっと食べれたかなと思いました。なので来年も水辺の広場に参加して、魚を一匹全部食べたいです。

座光寺小四年 木下和季君
「楽しかった水辺の広場」
僕が水辺の広場で楽しかったことは三つあります。一つ目は二ジマスのつかみ取りです。楽しい理由は、魚を手で捕まえるのですが、滑ってなかなか捕れ

ません。それでもがんばって捕った後は、自分の魚をさばきます。ヌルヌルして血も出るし、気持ち悪いけどがんばってさばきます。なのでとってもおいしいです。

二つ目は流しそうめんをすることです。流しそうめんでは、麵の他にもいろいろ流れてきます。例えばトマトやゼリーがいっぱい流れてきて楽しいです。

三つ目は天竜川で遊ぶことです。川は、魚やドジョウやでつかいザリガニなどがいます。だから捕まえて家に持って帰って育てました。だから水辺の広場はたくさん楽しいことが待っているの、そんな水辺の広場が好きです。

◆◆◆◆◆
最後は、座光寺地域の現状と課題についてのフリートークで、参加者からの自由な発言を求め意見交換が行われました。

【要望】 リニア関連事業(座光寺上郷道路を含む)により、移転を余儀なくされる方々が、広く東西にわたり約百棟ある。

このままでは、急激な人口減少になる。移転される方々が引き続き、座光寺地区に住むことができるようにする対策をお願いしたい。

【回答】 地区内の代替地整備エリア候補の「唐沢・宮の前地区」「共和地区」について、移転対象者の

の希望や地権者双方の意向調査を進め、街区計画を固めていく方針です。「座光寺に住み続けたい」と希望される方が、座光寺地区内に移転できるように、具体的な相談を進めていきます。

【要望】 代替地の整備において農振農用地除外などの各種手続きを含む工程が見えにくい。市の計画を早く示して欲しい。不安を取り除く事項への対処を早く進めて欲しい。

【回答】 農振除外の手続きについては、市でも「相談、協力」はいたしますが、個々での申請が必要ですのでお願いしたい。

代替地に関しては、これから移転対象者の希望や代替地地権者の意向を聞いて、具体的な調整を進めていきたい。

【要望】 県が新設する座光寺上郷道路の計画地にかかる警察官舎は、児童たちも複数入る。官舎が地区外に移転となると小学校の児童数が減り、一学年二クラスから一クラスになるなど影響が出る。

【市長】 警察官舎が引き続き、座光寺地区内に残るように市としても県への働きかけに力を入れて欲しい。

地区外に出て行ってしまっでは何もならない。警察官舎は座光寺地区内に残ってもらおうとつとめていきたい。どこに移転するかは地元と一緒に



考えていきます。
【要望】 災害などの有事の際に、組合未加入世帯(アパートなども含む)の安否確認や避難誘導は、非常に難しい状況にあるため、その対応方法について情報提供をお願いしたい。

【回答】 天竜川からの浸水想定を新たに盛り込んだハザードマップの改訂版を、来年度以降、全戸配布するので、その取り扱いを機に組合未加入世帯の方に入のきつけかけとなるような話をし

てはどうでしょうか。
【要望】 二〇二一年に運用開始する座光寺スマートICにバス停を設置して欲しい。飯田市の積極的な支援をお願いしたい。

【回答】 今のところ計画には含まれていませんが、ご提案頂いたスマートICバス停設置は貴重な意見として検討していきたい。

(広報部 今村)

ホタルを見る会 きれいなホタル

棚田 彩水



私はホタルを見る会でおどろいたことがあります。それは、それは、ホタルを見る前にホタルについて教えてもらっている時に知ったことです。まずおどろいたのはオスとメスの光り方のちがいです。オスはメスに比べて光る部分が多いそうです。私はオスもメスも光る部分はいっしょだと思っていたのでおどろきました。まさかちがうなんて思ってもみなかったからです。

でも私はもっとおどろいたことがあります。それは、さなぎも光るといことです。教えてもらった時、さなぎが光っている写真を見せてもらい、さらにおどろきました。本当にふつうのホタルと同じぐら

いの光で光っていたからです。さなぎでも光るなんてホタルって不思議だけどももしろいなあ、と思いました。

いよいよホタルを観察します。ホタルはきれいに木の間や草の中で光っていました。でも手ごとくはん囲では見づからず、しつかり観察することはできませんでした。本当は間近で見て光る部分のちがいを確かめたかったです。

でも、家に帰るまでの道でもホタルが見られたので、「家の近くでもたくさんホタルが暮らしてんだ。」と思い、うれしかったです。

男のための料理教室

湯沢 義彦

当座光寺地区にも男の料理教室があります。

私が参加するようになったのは、いつからなのか、思い出せませんが、いつも張り切っています。年五回、行われていると思います。常に三献立はありますが、四献立に挑戦することもあります。今回は何にしようか、管理栄養士の片桐先生が一番大変です。

毎回健康福祉の地区役員の方に、交代で各テーブルに付



いて頂いています。また、振興センターの職員や保健師の方達も含め、大勢の方に支えられ運営されています。

公民館の調理室に入った事は殆どの方が無いと思います。が、作業台は四台ですから、受け入れ人数は多くありません。

料理の内容は各家庭で作られている料理がベースです。家庭で作っている方は毎日です。大変さが解ります。

毎回初めて作る料理です。慣れない挑戦ゆえに、作る前の緊張は大きいです。

どうにか出来上がり、恐る恐る、複雑な気持ちで、口に運びます。自分で作った料理は大変美味しいですね。

どんな形で男性が家庭に関わるのかは、各家庭で様々です。豊かな老いと向かい合いたいものだと思います。

座光寺地区は会員二十名、減少傾向にあります。多様な社

広げようボランティアの輪

更生保護女性会活動を通して

座光寺地区更生保護女性会理事 池田 祐子

更生保護女性会では月一回旧大堤保育園跡地にある「つどいの広場」の園庭環境整備のボランティア活動を行っています。各地から集まって学び、遊びを共にする親子が、良い環境の広場で豊かなひと時を持つたれる様協力を差し上げる活動です。

更生保護女性会とは、終戦後荒れ果てた日本の大地、身内のない浮浪児、盗難、それ等の子供達を守ろうと民生委員や保護司の婦人が一つでも明るい灯をとボランティア活動がスタートしました。

酷暑かな終戦遠き七三年、あれから七十年この精神は脈々と受け継がれ拡大し今や全国で十七万人の会員数となっており。不自由な生活を余儀なくされている子供、犯罪や非行の増加、明るい社会を作ろうと自主的な組織を持つて国の行く更生保護事業に母として又女性としての立場から協力し活動して居ります。年間通して活動内容も広く深く展開されており。

座光寺地区は会員二十名、減少傾向にあります。多様な社



作業を終えて

会構成の中、時間を生み出す事も大変でしょうが一人の僅かな時間の提供で、大きなボランティアの輪が繋がりが広がります。活動が前進します。

今後は地域で力を出し合い助け合い生き合っていくという国の方針が出されており、証に個人の小さなボランティア活動が尊くなつて来ます。子供さんからお年寄りまでボランティア活動を通して皆で支え合う時代。私達女性会もそんな理想を一つでも現実にするべく活動に邁進して参ります。

広場から見渡す山々の木の間に青い空がこぼれて来そう。今朝も笑い声の響く作業日です。ボランティアは心の絆を深め、ふる里を愛し大切にすることを育む大きな財産だと思えます。御賛同下さる皆さん、どうぞ御一緒に。

第9回 座光寺夏祭り

平成30年
7月21日(土)

7月21日(土) 猛暑の中、第9回座光寺夏祭りが開催されました。参加者は約1,500人。七夕行列やじゃんけん大会、宝投げも盛り上がり、クライマックス回は打ち上げ花火。「子どもたちの心に残る夏祭り」になったことでしょう。



いいだ人形劇フェスタ 2018



今年の座光寺地区公演は、8月7日(火)に座光寺保育園公演、8月11日(土)に座光寺人形劇まつりが開催されました。今年40周年の記念で、スペインの劇団の公演もあり、観劇者にも大好評でした。



座光寺小 4年1組



座光寺小 4年2組

座光寺の子どもたちの快進撃

男女混合リレー 座光寺小5年Aチーム
長野県2位
 女子80mハードル 6年 西尾咲輝さん
長野県5位 東海大会出場

座光寺ジュニアバレーボールクラブ
飯田ゼットキッズ
長野県3位 北信越大会出場



今年度、小学校で陸上教室が行われ大勢の児童が参加し学年を越えて運動に親しむことができました。そこから希望者が五月の飯伊大会に出場しました。二十二名が上位入賞を果たし、六月の県大会でもそれぞれの力を発揮することができました。特に女子八十mハードルに出場した西尾咲輝さん(六年)は五位入賞、男女混合リレーAチーム(湯田うららさん、千葉唯花さん、春原秀さん、木内憲琉さん)は二位入賞を果たし、共に東

子どもたちの可能性
 座光寺小学校 担当 滝沢翔太

海大会に出場できるようになりました。西尾さんの活躍は仲間や先生のアドバイスを聞き、休み時間に練習した成果です。また、五年生はAチームだけでなく、さらに二つのリレーチームが県大会に出場するという、三十人余りの一つのクラスでは考えられない活躍を見せました。地区大会も合わせ百六十八チーム参加した中で二位になったのは、Aチーム内だけでなく仲間と切磋琢磨し、努力を積み重ねてきたからです。学校から一歩踏みだし、挑戦する子どもたちを、引き続き、温かく応援していただけると幸いです。



結果は一勝できただけでしたが、大きな舞台で力いっぱいプレーできたことは貴重な経験となり、今後につながる大きな自信と希望を感じました。ご支援してくださったみなさんに感謝です。
 六年生の感想を記します。
 高木宏仁朗：「ぼくは、やつのことで試合に勝ったときは、

座光寺ジュニアバレーボールクラブ・チーム名「飯田ゼットキッズ」は、座光寺小の児童男女合わせて二十五名で活動しています。
 今年度、男子チームが全日本小学生バレーボール大会において、地区予選を勝ち抜き県大会において三位という成績を収め、七月に石川県金沢市で開催された北信越大会に長野県代表として出場してまいりました。

北信越小学生バレーボール大会
 座光寺ジュニアバレーボールクラブ 監督 栗木 武



すごうれしかったです。でも悔しい北信越でした。」
 池田怜平：「北信越は想像以上にレベルが高く、かなり緊張しましたが、スパイクが決まっとうれしかったです。」
 小河原晟丸：「相手の気迫に押され、自分たちのペースでできませんでした。キャプテンとして大舞台でも大きな声が出せるようにしたいです。」
 原田祐輔：「プレッシャーがすごかったです。勝つことの大変さがわかりました。良い経験となりました。」

座光寺の自然 シリーズ ⑬ 座光寺のどんぐり

秋の里山を歩くとあちこちにどんぐりが落ちています。よくみると形や大きさが違うものがいくつもあります。子供たちはそれをみつけると競って拾うものです。

幼い子供たちはその中から大きさや形を感じ取り、「重さや質感」「色あい」「数の概念」など多くのことを学びます。年少の子や小学生は里山で見つけると夢中で集め、所有欲を満たし、遊び道具・机上の置物や宝物、ときには小動物や人形に変身、工作の材料にな



どんぐりの人形：子供たちがつくったもの

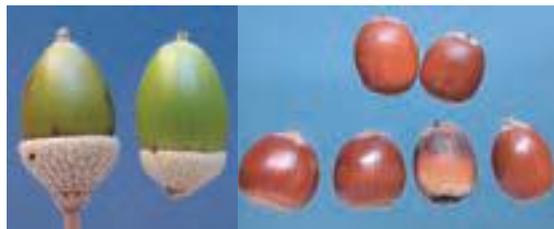
ります。「やじろべえ」をつくれれば立派なバランス玩具。ただそこまでやる子は稀でしょう。



左：コナラのコま 右：やじろべえ

どんな種類のどんぐりがある？

どんぐりはブナ科のナラやカシの木の実です。座光寺にあるどんぐりは六種類。よく見かけるのはコナラとクヌギ。コナラは特に多く、小さな細長い形をしたどんぐりです。クヌギは大きな丸いどんぐりをつくります。これも多いのですが、アベマキと形がそっくりで区別ができません。アベマキの樹皮はコルク質が発達



左：コナラ、右：上段 アベマキ、下段左3つがクヌギ、右端1つがミズナラ

しているのを見分けることができますが、両者の雑種もかなりあります。区別する必要はないでしょう。ミズナラがほんのわずかあります。このどんぐりはコナラを二周りほど大きくしたものです。葉っぱはコナラより二周りほど大きいのですが、大きさといものは相対的で分かりにくいものです。葉っぱに短い葉柄があるのがコナラ、無いのがミズナラです。思いがけないのはカシの木



左：シラカシ、右：アラカシ

かつては里山の主役

で、アラカシとシラカシがあります。この両種はあまり多くありませんが、麻績神社の下、旧小学校のグラウンド脇には大きな木があり、大量のアラカシのどんぐりが落ちます。これらカシ類は座光寺の段丘崖にかつては自生していたと思われませんが、今残っているのは人の栽培しているものです。また、この栽培個体の子供が麻績神社の裏山や段丘崖に大量に増えています。そう遠くないときに段丘崖はカシなどの常緑樹林になりそうです。

コナラやクヌギは里山の雑木林をつくる中心的な樹木でした。薪炭になり、シイタケ栽培の原木にもなりました。また幹から出る樹液にはクワガタやカブトムシ・オオムラサキなどが集まりました。薪炭を使わなくなり、森の木は大きくなりすぎました。大きな木にはシロスジカミキリが卵を産みません。実はシロスジカミキリが卵を産むときに樹皮をかじるので樹液が出たのです。クワガタが集う樹液を出すどんぐりの木も少なくなりました。

(伊那合自然友の会 小林正明)

編集後記

今夏の暑さはとても異常で、過ごしにくい日が続きましたね。雨が降らず猛暑続きで、農作物にもダメージがありそうなので心配です。なぜか雑草だけはどんどん伸び：悲しくなりますが。

それでも最近朝晩涼しくなり過ごしやすくなってきたので、久しぶりにウォーキングを復活しました。早朝歩くと脳がすっきりし、気持ちがいいです。

さて、地元の子どもたちがあちこちで大活躍をしているようです。先日私も子どもの県大会(水泳)の応援で長野まで出かけてきました。高陵中には今とても速い子がいて、昨年に続き今年も全国大会へ出場しました。今年も全国七位でした。(バタフライ100M)全国レベルとなると本当に速い！です。

座光寺の子どもたちも、知られていないところで活躍している子がまだまだいると思います。そんな子どもたちをこの広報でもっともっと知ってもらえるといいなあ：そんなふうに思います。

(広報部S)

